

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	子育て支援課	事業No.	108
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H11	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域福祉計画	
	法令・例規等			児童福祉法 障がい者総合支援法	
事業目的		対象	飯田、下伊那に住む障がい児		
		意図	障がい児や保護者の抱える、障がいや発達の遅れなど固有の問題や悩みを軽減します。		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
		<p>地域療育（ひまわり外来）は、飯伊圏域の乳幼児相談機関として定着しており、早期からの発達支援を保護者同意の下に行っています。</p> <p>地域保健師、子育て機関、保育所・認定こども園と密接に連携し、保護者の不安を軽減しつつ、専門職面談を通して児童の姿の共通理解や継続的発達支援を行いました。</p> <p>保育所等へ訪問し、対象児童への具体的な関わり方や環境構成について助言しました。また、関係者会議や保護者を含む支援会議の中で、児童をとりまく相談体制づくり、姿の共有、家庭支援等を行いました。また、就学説明会を開催し進学時の支援をしました。</p>	<p>専門職員賃金 12,725</p> <p>心理相談員報酬 140</p> <p>感覚統合訓練謝礼 720</p> <p>専門職員旅費 615</p> <p>その他の経費 634</p>							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	外来相談利用者数	人	613	511	613	503	613	573		
	外来相談利用延べ人数	人	3,385	2,961	3,385	3,323	3,385	4,223		
	保育園・幼稚園・学校等訪問回数	回	184	69	184	117	184	149		
	〃 利用延べ人数	人	755	347	755	455	755	654		
	早期療育グループ等実施回数	回	96	74	96	74	96	76		
	〃 利用延べ人数	人	668	386	668	455	668	458		
1年度決算(千円)	予算額		17,438							
	決算額		14,834							
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	5,497							
		地方債	0							
		その他	5,221							
一般財源		4,116								
<p>特定財源内訳及び補足事項</p> <p>(県) 地域療育等支援事業委託金 (10/10)</p> <p>(そ) 地域療育等相談支援事業収入 5,200千円</p> <p>(そ) 諸収入 21千円</p>										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	3	2	4	12	1	17,438	14,834	地域療育事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		<p>発達の早期発見・早期支援・継続支援の推進には、保護者との合意形成や家庭への支援が欠かせません。家庭支援の視点を持って、専門性の高いスタッフ体制と不断のスキルアップが必要です。今後、学童期の発達支援、学校連携の充実が求められます。</p>								
上記の課題解決のための有効策		<p>発達支援体制整備協議会での「学童期以降の発達支援に係る体制の在り方の検討」や、自立支援協議会での「地域の発達支援課題についての検討」の中で情報連携しつつ、当センターの役割などについて検討を進めていく必要があります。</p>								
次年度に向けての取り組み		<p>臨床心理士を常勤配置し、「児童の評価」に加え「家庭支援の視点から外来個別相談」ができるように努めます。こども家庭応援センター、地域保健師、保育園、学校等関係機関との密接な連携により、途切れない支援と学童期以降の発達支援の相談体制について検討していきます。</p>								